

## 第6学年東組 体育科学習指導案

### 「みんなで跳び越えろ、過去の自分 ～走り高跳び～」

学習指導者 山口 誉之

#### 1 学級（34名）の実態

##### （1）共に学びを進める子供に関する学級の実態

質問紙調査の結果から、「これまでの体育の授業で、自分ができていない動きに気付くために何をしてきましたか」という問いに対して、「友達に見てもらおう」あるいは「動画を撮って確認する」と答えた子供は26人だった。しかし、実際の姿を見ると、自分の問題を見付けるために友達の力を借りたり、動画で確認したりすることができている子供は半数ほどである。

##### （2）教科に関する学級の実態

子供たちは昨年度「陸上運動」の領域で、リズムよく助走し、リード足から順にマットに着地するはさみ跳びでの走り高跳びを経験している。質問紙調査でも、高く跳ぶために「助走のリズムを意識して跳んだ」と答えた子供は23人おり、助走の重要性は実感している。昨年度の様子を見ても、リズムよく助走し、リード足から順に着地できている子供がほとんどであった。しかし、昨年度は局面ごとに分解して動きの確認を行っていないため、踏み切りや空中姿勢の上達が高く跳ぶ際に有効だと考えている子供は少ない。

#### 2 本単元で習得を目指す「問題を発見する」方法

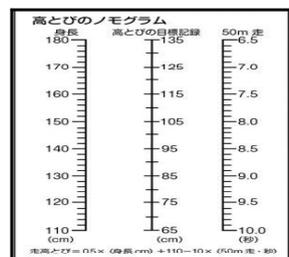
理想の動きと比べて、できていないところを見付ける

#### 3 本単元で目指す共に学びを進め合う子供の姿

単元の初めに、走り高跳びの記録を測定した後、昨年度全員の記録の合計が西組に負けてしまったことを思い出し、「今年こそは昨年度勝てなかった西組に勝ちたい」と単元の目標を設定する。目標達成のためには、一人一人が記録を1cmでも伸ばすことが大切であることを共有し、ノモグラムを使って算出したおおよその目標値を基に個人の目標を設定し、単元の学習計画を話し合う。その後、走り高跳び（はさみ跳び）の手本の動画を視聴し、「助走」「踏み切り」「空中姿勢」「着地」の四つの局面での上達が単元のゴールに直結することを共有し、それぞれの局面での動きのポイントを見付ける。見付けたポイントは、教師が補助黒板のモデル図に示しており、子供たちは練習の中で気付いた、ポイントとなる動きを習得するためのコツを、単元の目標達成のためにモデル図に書き込んで蓄積する。実際に目標に向かって練習する際には、前時に見いだした自分の動きの問題の中から、本時取り組む課題を設定し、解決に向けて取り組んでいく。そして、みんなで見付けたコツを手掛かりとして、友達と動きを見合ったり、動画で撮影して動きを確認したりしながら理想の動きに近付けていく。また、助言が上手な子供はアドバイザーとして認定されており、課題解決中に困った子供が助言をもらったり、助言することでアドバイザーの子供も学級の記録の伸びへの貢献を感じながら学習を進めていく。振り返り場面では、撮影した動きをペアで見合い、手本の動画やモデル図と比較しながら課題の達成度や次に取り組むべき課題を確認していく。例えば、「課題としていた空中で足を上げたら記録が2cm伸びたよ」「本当だ。足の裏がしっかり見えているね。でも助走のリズムとスピードが手本の動画と比べるとできていないね」「確かにそうかも。教えてくれてありがとう。できていないところが分かったから次回練習するね」のように、新たな問題を発見していく。このようにして、友達と一緒に学びを進めることで、学びが深まることを実感した子供たちは、他領域でも映像や他者からの助言を基に自分の動きの問題を見出し、目標の達成に向けて友達と協働し合いながら一つ一つ課題を解決していくだろう。

#### 4 達成意欲を高める目標共有の工夫①

単元の初めに今年度の記録を測定した後、昨年度は全員の合計の記録が西組に負けてしまったことを思い出し、今年はどうなりたいか問うことで、「今年こそ西組に勝ちたい」と単元の目標を設定する。その後、目標を達成するためには、「一人一人が今の記録より1cmでも高く跳べるようになる必要がある」ことを確認し、ノモグラムで算出した目標値を基に個人の目標も設定する。



【高跳びのノモグラム】

#### 5 単元計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時 4 / 6）

次	単元計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
	<p><b>① 走り高跳びをやってみよう</b></p> <p>初めにロイター板やトランポリンを使い、片足で踏み切り、跳び上がって、リード足から順に着地する感覚を思い出す。その後、最初の記録を測り、今年こそは西組に勝ちたいという目標を設定する。その際、一人一人が1cmでも記録を伸ばしていくと目標の達成に近付くことを確認し、ノモグラムを基に個人の目標を設定する。そして、単元の学習計画を話し合い、高く跳ぶためのポイントから見付けていくことを共有する。</p> <p><b>② 走り高跳びで高く跳ぶためのポイントを見付けよう</b></p> <p>走り高跳び（はさみ跳び）の手本動画を見て、走り高跳びは「助走」「踏み切り」「空中姿勢」「着地」の四つの局面に分けられることを知るとともに、動画の中で見付けた高く跳ぶポイントを共有して補助黒板のモデル図に蓄積する。その後、それぞれの局面での動きを練習できる場で実際に動きながら、見付けたポイントの動きを試していく。その際に見付けたこつもモデル図に蓄積していく。行動場面の最後には、まとめジャンプを行い、今日の学びを確認する。その際、必ず動画を撮影し、手本動画やモデル図と比較したり、友達と話し合ったりしながら自分の動きの問題を発見できるようにする。</p>	<p><b>【認知段階】</b></p> <p>前年度から、自分たちの動きを撮影、確認し、理想と比較することで、問題を見いだしながら学習を進めてきている。②時には、「まとめジャンプ」を行う際に、次の時間にやりたいことを見付けるために動きの撮影を行うことと、撮影し合った友達同士で動画を見ながら、今日取り組んだ課題とできるようになったことを伝えあった後、理想の動きと比べて自分がまだできていないところを探すという問題を発見する方法を教示している。そうすることで、新たな問題が発見できるというよさを共通理解する。</p>
	<p><b>③④⑤ 記録を伸ばすために練習しよう</b></p> <p>前時に見いだした問題から、本時取り組む課題を設定する。その後、課題解決のために自分が何をしなければならないかをモデル図にある動きのこつを基に見通しをもち、練習に取り組む。練習中は、同じ場に集まった共通の課題をもった友達同士で動きを撮影して確認したり、助言し合ったりしながら理想の動きに近付けていく。そして、練習した動きに自信がもてた場合は、各自で「お試しジャンプ」を行い、一連の動作の中で習得を目指した動きができるようになったかを確認する。行動場面の最後には、全員が今日の練習の成果や記録の伸びを確かめる「まとめジャンプ」を行い、同じ場にいる友達同士で撮影し合う。振り返り場面では、撮影し合った友達と映像を見ながら「今日の課題」と「できたこと」を伝え合う中で「問題」も発見していく。</p>	<p><b>【想起段階】</b></p> <p>振り返りの場面において「次にやりたいことの候補を見付けるにはどうしたらよかったかな」と問いかけることで方法を想起できるようにする。方法が使えていない子供には、「どうしたら自分ができていない動きが見付かるかな」など問いかけたり、方法を使っている友達を見るよう促したりする。また、方法の手順と方法を使うことのよさを示したものを体育館に掲示しておく。</p>
	<p><b>⑥ 目標達成に向けて最後の練習をしよう</b></p> <p>⑤時に発見した問題を基に課題を設定し、それを解決するために前半の時間を使って練習に取り組む。その後、本時は単元最後の時間であるため、三度の「まとめジャンプ」を行い、目標とする記録に挑戦していく。振り返り場面では、単元を通しての自己の伸びやその理由について振り返るとともに、学級全体での伸びを確認し、他者との関わり方や学び方についても振り返り、目標が達成できたかを確認する。</p>	<p><b>【方法を使う手順】</b></p>

6 本時の学習

目 標	自分が目指す動きの習得に合った練習の場を選び、友達と動きの確認や助言をし合い、記録の向上を目指して練習に取り組むことができる。また、動画等を参考に、自分の動きの問題点を発見している。
--------	---

学習活動と手立て	主な子供の意識																																				
見 通 し	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。</td> <td> <p>前は自己ベストの95cmが跳べたけど助走のリズムが崩れていたからそこを直して記録を伸ばしたいな。</p> <p>力強く踏み切れるようになってきたよ。でも助走のスピードと空中姿勢の足の高さに問題があったよ。</p> <p style="text-align: center;"><b>記録を伸ばすために練習しよう</b></p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">今日は助走のリズムを改善して記録を伸ばすよ。</td> <td style="width: 50%;">2つの問題があったけど、あと少しでできそうな足の高さからしよう。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>リズムのよい助走ができるようになろう</b></td> <td style="text-align: center;"><b>空中でしっかり足を上げられるようになろう</b></td> </tr> <tr> <td>こつを見ると、助走2歩目に軽く跳ぶと、リズムが作りやすいらしいよ。</td> <td>空中で足を上げるには、少し後ろに体を倒す感覚で跳ぶと書いているよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">練習で試してみよう。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2 課題ごとに場を選んで練習に取り組む。 ・動きの練習 ・お試タイム</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">2歩目に軽く跳ぶ感じをつかむにはどんな練習をしたらいいのかな。</td> <td style="width: 25%;">私は踏み切り板を2歩目のところにおいて練習したらリズムをつかめるようになったよ。</td> <td style="width: 25%;">ロイター板を使って体を後ろに倒す感じで練習したら確かに足が上がりやすい気がする。</td> <td style="width: 25%;">〇〇さん今足が上がり足裏が見えていたよ。試しのジャンプをしてみたら。</td> </tr> <tr> <td>やってみるからリズムを一緒に口ずさんでほしいな。</td> <td>だいぶリズムよく助走できているね。次は私を見せてくれるかな。</td> <td>試しのジャンプで記録が伸びたよ。撮影した動画も見てみよう。</td> <td>足がお尻よりも高く上がっているからゴムを越えられたんだね。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3 まとめジャンプに挑戦する。</td> <td> <p style="text-align: center;">記録が伸びたかまとめジャンプで確かめよう。</p> <p style="text-align: center;">前回より高い97cmに挑戦するよ。助走のリズムを大事にして・・・</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">行 動</td> <td> <p style="text-align: center;">自分の動きを友達と動画を見て確かめよう。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">〇〇さんのアドバイスのおかげで2歩目を軽く跳んでタタターンのリズムで跳ぶと記録が伸びたよ。</td> <td style="width: 50%;">本当だ。助走のリズムがよくなって踏み切りも安定しているね。スピードを上げたらさらによさそうだよ。</td> </tr> <tr> <td>確かに助走のスピードと空中姿勢の後ろの足をしっかり上げるところも手本の動画のようにできていないね。</td> <td>△△さんの記録が伸びてアドバイスしたかいがあったよ。私も今日課題にした踏み切りがよくなったよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">動画で確認したり、友達に聞いたりしたら自分に足りない動きが分かって、次にすべきことが見えてくるね。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">あと2時間で助走のスピードを上げて100cmを跳べるようになりたいな。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">振 り 返 り ・ 見 通 し</td> <td> <p style="text-align: center;">自分が設定した課題に合った練習の場を選び、動画や友達からの助言を活用しながら練習に取り組んでいる。また、自分の動きと理想の動きを比較したことについて友達と伝え合いながら問題を発見している。</p> <p style="text-align: right;">【方法：発言、様相、表現物】</p> </td> </tr> </table>	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。	<p>前は自己ベストの95cmが跳べたけど助走のリズムが崩れていたからそこを直して記録を伸ばしたいな。</p> <p>力強く踏み切れるようになってきたよ。でも助走のスピードと空中姿勢の足の高さに問題があったよ。</p> <p style="text-align: center;"><b>記録を伸ばすために練習しよう</b></p>		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">今日は助走のリズムを改善して記録を伸ばすよ。</td> <td style="width: 50%;">2つの問題があったけど、あと少しでできそうな足の高さからしよう。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>リズムのよい助走ができるようになろう</b></td> <td style="text-align: center;"><b>空中でしっかり足を上げられるようになろう</b></td> </tr> <tr> <td>こつを見ると、助走2歩目に軽く跳ぶと、リズムが作りやすいらしいよ。</td> <td>空中で足を上げるには、少し後ろに体を倒す感覚で跳ぶと書いているよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">練習で試してみよう。</td> </tr> </table>	今日は助走のリズムを改善して記録を伸ばすよ。	2つの問題があったけど、あと少しでできそうな足の高さからしよう。	<b>リズムのよい助走ができるようになろう</b>	<b>空中でしっかり足を上げられるようになろう</b>	こつを見ると、助走2歩目に軽く跳ぶと、リズムが作りやすいらしいよ。	空中で足を上げるには、少し後ろに体を倒す感覚で跳ぶと書いているよ。	練習で試してみよう。		2 課題ごとに場を選んで練習に取り組む。 ・動きの練習 ・お試タイム	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">2歩目に軽く跳ぶ感じをつかむにはどんな練習をしたらいいのかな。</td> <td style="width: 25%;">私は踏み切り板を2歩目のところにおいて練習したらリズムをつかめるようになったよ。</td> <td style="width: 25%;">ロイター板を使って体を後ろに倒す感じで練習したら確かに足が上がりやすい気がする。</td> <td style="width: 25%;">〇〇さん今足が上がり足裏が見えていたよ。試しのジャンプをしてみたら。</td> </tr> <tr> <td>やってみるからリズムを一緒に口ずさんでほしいな。</td> <td>だいぶリズムよく助走できているね。次は私を見せてくれるかな。</td> <td>試しのジャンプで記録が伸びたよ。撮影した動画も見てみよう。</td> <td>足がお尻よりも高く上がっているからゴムを越えられたんだね。</td> </tr> </table>	2歩目に軽く跳ぶ感じをつかむにはどんな練習をしたらいいのかな。	私は踏み切り板を2歩目のところにおいて練習したらリズムをつかめるようになったよ。	ロイター板を使って体を後ろに倒す感じで練習したら確かに足が上がりやすい気がする。	〇〇さん今足が上がり足裏が見えていたよ。試しのジャンプをしてみたら。	やってみるからリズムを一緒に口ずさんでほしいな。	だいぶリズムよく助走できているね。次は私を見せてくれるかな。	試しのジャンプで記録が伸びたよ。撮影した動画も見てみよう。	足がお尻よりも高く上がっているからゴムを越えられたんだね。	3 まとめジャンプに挑戦する。	<p style="text-align: center;">記録が伸びたかまとめジャンプで確かめよう。</p> <p style="text-align: center;">前回より高い97cmに挑戦するよ。助走のリズムを大事にして・・・</p>	行 動	<p style="text-align: center;">自分の動きを友達と動画を見て確かめよう。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">〇〇さんのアドバイスのおかげで2歩目を軽く跳んでタタターンのリズムで跳ぶと記録が伸びたよ。</td> <td style="width: 50%;">本当だ。助走のリズムがよくなって踏み切りも安定しているね。スピードを上げたらさらによさそうだよ。</td> </tr> <tr> <td>確かに助走のスピードと空中姿勢の後ろの足をしっかり上げるところも手本の動画のようにできていないね。</td> <td>△△さんの記録が伸びてアドバイスしたかいがあったよ。私も今日課題にした踏み切りがよくなったよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">動画で確認したり、友達に聞いたりしたら自分に足りない動きが分かって、次にすべきことが見えてくるね。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">あと2時間で助走のスピードを上げて100cmを跳べるようになりたいな。</td> </tr> </table>	〇〇さんのアドバイスのおかげで2歩目を軽く跳んでタタターンのリズムで跳ぶと記録が伸びたよ。	本当だ。助走のリズムがよくなって踏み切りも安定しているね。スピードを上げたらさらによさそうだよ。	確かに助走のスピードと空中姿勢の後ろの足をしっかり上げるところも手本の動画のようにできていないね。	△△さんの記録が伸びてアドバイスしたかいがあったよ。私も今日課題にした踏み切りがよくなったよ。	動画で確認したり、友達に聞いたりしたら自分に足りない動きが分かって、次にすべきことが見えてくるね。		あと2時間で助走のスピードを上げて100cmを跳べるようになりたいな。		振 り 返 り ・ 見 通 し	<p style="text-align: center;">自分が設定した課題に合った練習の場を選び、動画や友達からの助言を活用しながら練習に取り組んでいる。また、自分の動きと理想の動きを比較したことについて友達と伝え合いながら問題を発見している。</p> <p style="text-align: right;">【方法：発言、様相、表現物】</p>
	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。	<p>前は自己ベストの95cmが跳べたけど助走のリズムが崩れていたからそこを直して記録を伸ばしたいな。</p> <p>力強く踏み切れるようになってきたよ。でも助走のスピードと空中姿勢の足の高さに問題があったよ。</p> <p style="text-align: center;"><b>記録を伸ばすために練習しよう</b></p>																																			
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">今日は助走のリズムを改善して記録を伸ばすよ。</td> <td style="width: 50%;">2つの問題があったけど、あと少しでできそうな足の高さからしよう。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>リズムのよい助走ができるようになろう</b></td> <td style="text-align: center;"><b>空中でしっかり足を上げられるようになろう</b></td> </tr> <tr> <td>こつを見ると、助走2歩目に軽く跳ぶと、リズムが作りやすいらしいよ。</td> <td>空中で足を上げるには、少し後ろに体を倒す感覚で跳ぶと書いているよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">練習で試してみよう。</td> </tr> </table>	今日は助走のリズムを改善して記録を伸ばすよ。	2つの問題があったけど、あと少しでできそうな足の高さからしよう。	<b>リズムのよい助走ができるようになろう</b>	<b>空中でしっかり足を上げられるようになろう</b>	こつを見ると、助走2歩目に軽く跳ぶと、リズムが作りやすいらしいよ。	空中で足を上げるには、少し後ろに体を倒す感覚で跳ぶと書いているよ。	練習で試してみよう。																												
	今日は助走のリズムを改善して記録を伸ばすよ。	2つの問題があったけど、あと少しでできそうな足の高さからしよう。																																			
<b>リズムのよい助走ができるようになろう</b>	<b>空中でしっかり足を上げられるようになろう</b>																																				
こつを見ると、助走2歩目に軽く跳ぶと、リズムが作りやすいらしいよ。	空中で足を上げるには、少し後ろに体を倒す感覚で跳ぶと書いているよ。																																				
練習で試してみよう。																																					
2 課題ごとに場を選んで練習に取り組む。 ・動きの練習 ・お試タイム	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">2歩目に軽く跳ぶ感じをつかむにはどんな練習をしたらいいのかな。</td> <td style="width: 25%;">私は踏み切り板を2歩目のところにおいて練習したらリズムをつかめるようになったよ。</td> <td style="width: 25%;">ロイター板を使って体を後ろに倒す感じで練習したら確かに足が上がりやすい気がする。</td> <td style="width: 25%;">〇〇さん今足が上がり足裏が見えていたよ。試しのジャンプをしてみたら。</td> </tr> <tr> <td>やってみるからリズムを一緒に口ずさんでほしいな。</td> <td>だいぶリズムよく助走できているね。次は私を見せてくれるかな。</td> <td>試しのジャンプで記録が伸びたよ。撮影した動画も見てみよう。</td> <td>足がお尻よりも高く上がっているからゴムを越えられたんだね。</td> </tr> </table>	2歩目に軽く跳ぶ感じをつかむにはどんな練習をしたらいいのかな。	私は踏み切り板を2歩目のところにおいて練習したらリズムをつかめるようになったよ。	ロイター板を使って体を後ろに倒す感じで練習したら確かに足が上がりやすい気がする。	〇〇さん今足が上がり足裏が見えていたよ。試しのジャンプをしてみたら。	やってみるからリズムを一緒に口ずさんでほしいな。	だいぶリズムよく助走できているね。次は私を見せてくれるかな。	試しのジャンプで記録が伸びたよ。撮影した動画も見てみよう。	足がお尻よりも高く上がっているからゴムを越えられたんだね。																												
	2歩目に軽く跳ぶ感じをつかむにはどんな練習をしたらいいのかな。	私は踏み切り板を2歩目のところにおいて練習したらリズムをつかめるようになったよ。	ロイター板を使って体を後ろに倒す感じで練習したら確かに足が上がりやすい気がする。	〇〇さん今足が上がり足裏が見えていたよ。試しのジャンプをしてみたら。																																	
やってみるからリズムを一緒に口ずさんでほしいな。	だいぶリズムよく助走できているね。次は私を見せてくれるかな。	試しのジャンプで記録が伸びたよ。撮影した動画も見てみよう。	足がお尻よりも高く上がっているからゴムを越えられたんだね。																																		
3 まとめジャンプに挑戦する。	<p style="text-align: center;">記録が伸びたかまとめジャンプで確かめよう。</p> <p style="text-align: center;">前回より高い97cmに挑戦するよ。助走のリズムを大事にして・・・</p>																																				
行 動	<p style="text-align: center;">自分の動きを友達と動画を見て確かめよう。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">〇〇さんのアドバイスのおかげで2歩目を軽く跳んでタタターンのリズムで跳ぶと記録が伸びたよ。</td> <td style="width: 50%;">本当だ。助走のリズムがよくなって踏み切りも安定しているね。スピードを上げたらさらによさそうだよ。</td> </tr> <tr> <td>確かに助走のスピードと空中姿勢の後ろの足をしっかり上げるところも手本の動画のようにできていないね。</td> <td>△△さんの記録が伸びてアドバイスしたかいがあったよ。私も今日課題にした踏み切りがよくなったよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">動画で確認したり、友達に聞いたりしたら自分に足りない動きが分かって、次にすべきことが見えてくるね。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">あと2時間で助走のスピードを上げて100cmを跳べるようになりたいな。</td> </tr> </table>	〇〇さんのアドバイスのおかげで2歩目を軽く跳んでタタターンのリズムで跳ぶと記録が伸びたよ。	本当だ。助走のリズムがよくなって踏み切りも安定しているね。スピードを上げたらさらによさそうだよ。	確かに助走のスピードと空中姿勢の後ろの足をしっかり上げるところも手本の動画のようにできていないね。	△△さんの記録が伸びてアドバイスしたかいがあったよ。私も今日課題にした踏み切りがよくなったよ。	動画で確認したり、友達に聞いたりしたら自分に足りない動きが分かって、次にすべきことが見えてくるね。		あと2時間で助走のスピードを上げて100cmを跳べるようになりたいな。																													
	〇〇さんのアドバイスのおかげで2歩目を軽く跳んでタタターンのリズムで跳ぶと記録が伸びたよ。	本当だ。助走のリズムがよくなって踏み切りも安定しているね。スピードを上げたらさらによさそうだよ。																																			
	確かに助走のスピードと空中姿勢の後ろの足をしっかり上げるところも手本の動画のようにできていないね。	△△さんの記録が伸びてアドバイスしたかいがあったよ。私も今日課題にした踏み切りがよくなったよ。																																			
	動画で確認したり、友達に聞いたりしたら自分に足りない動きが分かって、次にすべきことが見えてくるね。																																				
あと2時間で助走のスピードを上げて100cmを跳べるようになりたいな。																																					
振 り 返 り ・ 見 通 し	<p style="text-align: center;">自分が設定した課題に合った練習の場を選び、動画や友達からの助言を活用しながら練習に取り組んでいる。また、自分の動きと理想の動きを比較したことについて友達と伝え合いながら問題を発見している。</p> <p style="text-align: right;">【方法：発言、様相、表現物】</p>																																				

## 7 本時の詳細

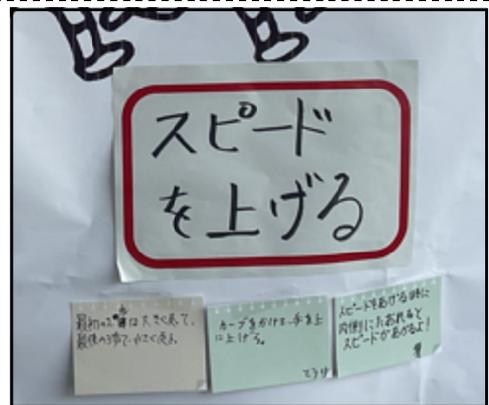
### ～見通し～ **学習活動1**

単元を通して、①時に立てた学習計画を基に学びを進めてきている。また、一単位時間の終わりには、練習の成果や伸びが確認できる「まとめジャンプ」を撮影したものを友達と一緒に確認し、モデル図や手本の動画と比べて自分ができていない動きから問題を発見している。

授業の初めに、単元の初めに設定した「今年こそは西組に勝ちたい」という単元の目標を確認した後、そのために今日はどんな学習に取り組むか問うことで、単元計画にある「記録を伸ばすために練習をする」という課題を確認する。その後、前時の振り返りを見るように促し、前時の終わりに発見した動きの問題点から個人課題を設定する。その後、設定した個人課題を解決するために、モデル図のこつを手掛かりにしたり、困ったらアドバイザーに相談したりするとよいことを確認し、解決の見通しをもてるようにする。また、練習中は上手いきそうなタイミングで試しのジャンプに挑戦できることを共通理解する。

### ～行動～ **学習活動2・3**

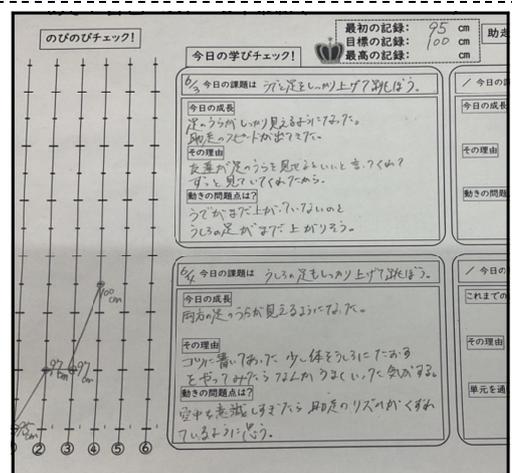
各自の課題ごとに場を選んで練習する時間を設ける。選んでできる場は、子供たちの課題解決に必要な最低限の数にしている。場を絞ることで、話しやすい友達と同じ場で練習する機会が生まれ、待ち時間を友達の動きを見て助言する時間に使ったり、動画を撮影して互いに見合ったりしながらポイントを確認する時間としている。練習中は、それぞれの局面のポイントとこつが示された補助黒板を場ごとに設置しておき、子供たちは、それを見ながら自分に足りない動きの習得を目指して練習に取り組む。さらに、助言が上手な子供を「〇〇アドバイザー」として認定しておくことで、困ったときは誰にアドバイスを求めればよいか明確にしておく。アドバイザーの関わりを称賛し、取り上げることで、周りの子供たちにとっての関わり方のモデルになるようにする。自分の動きが理想とする動きに近付いたかは、近くの友達に見てもらったり、それぞれの一人一台端末で動画を他者に撮影してもらったりしながら確認する。また、練習している動きに自信をもてた際は、1度だけ「試しのジャンプ」の場で一連の動き中で確認し、記録を測定できるようにしている。行動場面の最後には、自分の動きがよくなったことや記録の伸びを確認するための「まとめジャンプ」の時間を設ける。「まとめジャンプ」の際には、必ず同じ場にいる友達に一連の動きを撮影してもらい、今の自分ができている動きや改善しなければならない動きについて気付けるようにする。



【モデル図の一部】

### ～振り返り・見通し～ **学習活動4**

②時に、振り返り場面では、「まとめジャンプ」で撮影し合った友達と共に、撮影した動画を見ながら、今日取り組んだ課題とできるようになったことを振り返り、手本の動画やモデル図と比較しながら、動きの問題点を見付けるとよいことを伝えている。子供たちが振り返りを行っているタイミングで「友達と振り返りを行うことで、次の問題を発見でき、学級の目標の達成に近付いていくね」などと友達と関わる方法のよさを感じられるようにするとともに、方法が使えていない子供に想起を促す。その後、記録が伸びた子供やアドバイスが上手だった子供を紹介し、学級全体の記録を伸ばすために活躍していることを価値付けることで、貢献を感じられるようにする。そして、残り2時間で自分たちが目指している記録や動きに近付けていこうと次時への意欲付けを行う。



【振り返りカードの例】